



2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社FUJIIJAPAN
 コード番号 1449 URL <https://www.fujijapan.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札
 (氏名) 佐々木 忠幸
 (氏名) 樋口 俊一
 TEL 011-299-5361

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	846	22.5	40	519.5	44	279.2	29	260.8
2020年12月期第2四半期	690	3.5	6	81.4	11	68.8	8	68.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	13.86	
2020年12月期第2四半期	3.84	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	607	348	57.4
2020年12月期	561	333	59.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 348百万円 2020年12月期 333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		7.00	7.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,801	21.6	113	129.6	101	75.8	66	63.5	31.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	2,130,000 株	2020年12月期	2,130,000 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	株	2020年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	2,130,000 株	2020年12月期2Q	2,130,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料には記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により厳しい状況で経済活動の停滞が続いております。景気の先行きについては、感染拡大の対策を講じ、ワクチン接種を促進する中で、企業の輸出や設備投資、生産活動に持ち直しの動きがみられるものの、東京都では第四次緊急事態宣言が出されるなど変異ウィルスの感染拡大も懸念されており、依然として不透明な状況となっております。

当社のリフォーム市場におきましては、国策による「住宅の質の向上及び長期優良住宅の普及を重視する方針」は今後も継続し、市場規模は膨大に存在すると考えております。

このような経済環境の中、当社では、札幌支店・仙台支店の北ブロックと横浜支店・千葉支店・埼玉支店の関東ブロックに分け、この二本柱による営業展開を図り、新型コロナウイルス感染症対策を慎重に行いお客様への対応に十分な注意を払いながら営業活動を行ってまいりました。また、エリア拡大によるユーザーへの信用・安心を高めるとともに、地域に根差した積極的な新卒採用と人材育成及び営業力強化に注力した体制作りを継続してまいりました。

これらにより当第2四半期累計期間における売上高は846,519千円（前年同期比22.5%増）、営業利益は40,987千円（前年同期比519.5%増）、経常利益は44,659千円（前年同期比279.2%増）、四半期純利益は29,520千円（前年同期比260.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(外壁リフォーム工事)

外壁リフォーム工事については、営業部の人員増加及び人材育成により受注数が増加となり、それに伴う販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高は774,984千円（前年同期比26.7%増）、セグメント利益は101,632千円（前年同期比70.9%増）となりました。

なお、地域ごとの売上高の内訳としては、北海道地区（1支店）336,590千円（前年同期比2.3%減）、東北地区（1支店）166,547千円（前年同期比112.6%増）、関東地区（3支店）271,845千円（前年同期比43.9%増）となりました。

(その他リフォーム工事)

その他リフォーム工事については、個人向け工事の受注数が増加したため、売上高は41,879千円（前年同期比2.7%増）、セグメント利益は392千円（前年同期比78.7%減）となりました。

(材料販売)

材料販売については、受注数が大幅に減少し、売上高は29,655千円（前年同期比22.2%減）、セグメント利益は2,527千円（前年同期比50.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は394,336千円となり、前事業年度末と比べ46,259千円増加いたしました。これは主に完成工事未収入金が98,632千円増加、棚卸資産が19,395千円増加した一方で、現金及び預金が70,349千円減少したことによるものであります。固定資産は212,855千円となり、前事業年度末と比べ165千円減少いたしました。これは主に保険積立金が1,359千円増加した一方で、有形及び無形固定資産が1,511千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は607,192千円となり、前事業年度末と比べ46,094千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は225,733千円となり、前事業年度末と比べ43,585千円増加いたしました。これは主に工事未払金が39,891千円増加、未払法人税等が12,787千円増加、預り金が2,860千円増加した一方で、未払費用が10,748千円減少したことによるものであります。固定負債は33,047千円となり、前事業年度末と比べ12,101千円減少いたしました。これは主に長期借入金が4,150千円減少、預り敷金保証金が7,368千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は258,781千円となり、前事業年度末と比べ31,483千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は348,411千円となり、前事業年度末と比べ14,610千円増加いたしました。これは四半期純利益29,520千円を計上した一方で、利益処分による配当金の支払い14,910千円をしたことにより、利益剰余金が減少したためであります。

この結果、自己資本比率は57.4%（前事業年度末は59.5%）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期累計期間における営業活動の結果使用した資金は45,166千円（前年同期より51,605千円減）となりました。

これは主として、税引前四半期純利益44,659千円に対し、仕入債務の増加額41,029千円、減価償却費4,261千円の資金増加要因があった一方で、売上債権の増加額98,820千円、たな卸資産の増加額19,395千円、未払費用の減少額10,748千円、預り敷金保証金の減少額7,368千円の資金減少要因があったことによるものです。

投資活動の結果使用した資金は、4,109千円（前年同期比36.7%減）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出2,750千円、保険積立金の積立による支出1,359千円の資金減少要因があったことによるものです。

財務活動の結果使用した資金は、21,073千円（前年同期比29.5%減）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出5,592千円、配当金の支払額14,905千円の資金減少要因があったことによるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、98,512千円となりました。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、「2020年12月期決算短信」における通期の業績予想から変更しておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	168,862	98,512
完成工事未収入金	128,627	227,260
売掛金	5,689	5,877
原材料及び貯蔵品	27,685	37,028
未成工事支出金	9,112	19,164
前払費用	4,740	5,919
その他	3,359	574
流動資産合計	348,076	394,336
固定資産		
有形固定資産		
建物	44,082	44,082
減価償却累計額	△17,862	△18,593
建物(純額)	26,220	25,489
車両運搬具	1,810	1,810
減価償却累計額	△1,744	△1,777
車両運搬具(純額)	65	32
工具、器具及び備品	36,946	39,696
減価償却累計額	△25,916	△28,327
工具、器具及び備品(純額)	11,030	11,369
土地	92,005	92,005
リース資産	10,814	10,814
減価償却累計額	△1,745	△2,327
リース資産(純額)	9,068	8,486
有形固定資産合計	138,388	137,382
無形固定資産		
ソフトウェア	505	—
無形固定資産合計	505	—
投資その他の資産		
敷金及び保証金	61,364	61,364
保険積立金	8,167	9,526
長期前払費用	44	30
繰延税金資産	3,301	3,301
その他	1,250	1,250
投資その他の資産合計	74,127	75,472
固定資産合計	213,021	212,855
資産合計	561,098	607,192

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,703	4,841
工事未払金	89,531	129,422
1年内返済予定の長期借入金	11,184	9,742
リース債務	1,155	1,162
未払金	10,397	11,011
未払費用	41,136	30,388
未払法人税等	2,494	15,282
前受金	3,352	1,500
預り金	1,780	4,640
完成工事補償引当金	4,110	4,250
前受収益	314	314
その他	12,989	13,177
流動負債合計	182,148	225,733
固定負債		
長期借入金	4,150	—
リース債務	7,848	7,265
預り敷金保証金	33,149	25,781
固定負債合計	45,148	33,047
負債合計	227,297	258,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	65,424	65,424
資本剰余金		
資本準備金	20,424	20,424
資本剰余金合計	20,424	20,424
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	247,953	262,563
利益剰余金合計	247,953	262,563
株主資本合計	333,801	348,411
純資産合計	333,801	348,411
負債純資産合計	561,098	607,192

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高		
完成工事高	652,627	816,863
材料売上高	38,136	29,655
売上高合計	690,764	846,519
売上原価		
完成工事原価	371,403	479,962
材料売上原価	31,322	24,469
売上原価合計	402,725	504,431
売上総利益	288,039	342,088
販売費及び一般管理費	281,423	301,100
営業利益	6,615	40,987
営業外収益		
受取利息	436	428
貸貸収入	1,713	1,713
受取保険金	2,527	1,441
その他	1,024	530
営業外収益合計	5,701	4,113
営業外費用		
支払利息	200	117
貸貸収入原価	218	241
その他	121	82
営業外費用合計	541	441
経常利益	11,776	44,659
税引前四半期純利益	11,776	44,659
法人税等	3,594	15,139
四半期純利益	8,182	29,520

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	11,776	44,659
減価償却費	5,808	4,261
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	160	140
損害賠償引当金の増減額 (△は減少)	△2,149	—
受取利息	△436	△428
支払利息	200	117
売上債権の増減額 (△は増加)	30,755	△98,820
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△18,477	△19,395
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	△559	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,215	41,029
未払金の増減額 (△は減少)	△5,620	613
未払費用の増減額 (△は減少)	△10,812	△10,748
前受金の増減額 (△は減少)	286	△1,852
預り敷金保証金の増減額 (△は減少)	△6,035	△7,368
その他の増減額 (△は減少)	2,957	4,664
小計	21,070	△43,125
利息の受取額	436	428
利息の支払額	△200	△117
法人税等の支払額	△14,866	△2,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,439	△45,166
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,417	△2,750
貸付けによる支出	△1,006	—
貸付金の回収による収入	288	—
保険積立金の積立による支出	△1,359	△1,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,495	△4,109
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	—
長期借入金の返済による支出	△9,342	△5,592
配当金の支払額	—	△14,905
リース債務の返済による支出	△568	△575
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,910	△21,073
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△29,966	△70,349
現金及び現金同等物の期首残高	174,187	168,862
現金及び現金同等物の四半期末残高	144,220	98,512

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年2月10日 取締役会	普通株式	14,910	7.00	2020年12月31日	2021年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判定・評価にあたり、当社の事業活動における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響については、前事業年度末に2021年度上期まで続くと仮定を置いて会計上の見積りを行いました。当第2四半期累計期間においても収束の兆しが見えていないことから、収束時期を含む仮定については2021年度末まで続く可能性があるものと仮定して、会計上の見積りを行っております。なお、本感染症の影響が悪化・長期化する場合、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	外壁リフォーム 工事	その他リフォーム 工事	材料販売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	611,853	40,773	38,136	690,764	—	690,764
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,797	—	—	1,797	△1,797	—
計	613,651	40,773	38,136	692,562	△1,797	690,764
セグメント利益	59,452	1,845	5,079	66,377	△59,761	6,615

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△59,761千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	外壁リフォーム 工事	その他リフォーム 工事	材料販売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	774,984	41,879	29,655	846,519	—	846,519
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,571	—	—	1,571	△1,571	—
計	776,555	41,879	29,655	848,091	△1,571	846,519
セグメント利益	101,632	392	2,527	104,552	△63,564	40,987

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△63,564千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。